

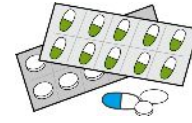
自販健保短信

静岡県自動車販売健康保険組合
静岡市駿河区南八幡町22番8号
TEL 054-286-5295
http://www.sjkenpo.net

2011. 6月号

みんさまでご覧ください。

～・～家計にやさしいジェネリック医薬品！～・～



テレビCMなどで耳にするようになったジェネリック医薬品、今月号では、この医薬品についてご紹介いたします。

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。

一般的に先発医薬品より値段が安く、自己負担額の軽減ができ、医療費削減にもつながり、利用促進が求められています。

欧米では、既に普及が進んでおり、使用される医薬品の約5割がジェネリック医薬品と言われていますが、日本では、安定供給に対する懸念や信頼不足が医師や薬剤師にあり、いまのところ2割程度しか普及していません。

厚生労働省は、年々増加する医療費を抑制するため、普及に積極的に取り組んでおり、当健保でも、保険証にシールを貼付し、普及促進に努めています。

ぜひ、切り替え(節約)をお勧めします。

なお、ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。



ポイント1

先発医薬品より安価で、経済的です。(価格は品目ごとに様々ですが、先発医薬品の半額以下の薬もあります。自己負担の軽減、医療費の節減につながります。)

ポイント2

効き目や安全性は、先発医薬品と同等です。先発医薬品と同レベルの品質・有効性・安全性を有するかどうかは、欧米と同様の基準で審査を行っています。

ポイント3

アメリカ、イギリス、ドイツなどでは、使用されている医薬品の約半分が後発医薬品ですが、日本の普及率は、約2割にとどまっています。

～・～平成23年度 健保組合財政 6090億円の赤字～・～

- 保険料収入では賅えない保険給付費・高齢者医療費拠出金
- 巨額赤字の要因は、増加する高齢者医療費拠出金
- 健保連の高齢者医療制度改革提言の早期実現を！！

健保連がまとめた平成23年度予算によれば健保組合全体の赤字額は6090億円。

全国1447健保組合のうち約9割が赤字に陥る見込みです。しかもこれには大震災による影響が含まれていないため、今後は保険料収入の減収、医療費負担の増加によってさらなる財政悪化が懸念されています。

多くの健保組合が赤字に転落するきっかけとなったのは、平成20年に施行された高齢者医療制度です。高齢者の医療費を支えるため健保組合が支援金・納付金を拠出することとなり、それが組合財政を大きく圧迫しました。

現在、厚生労働省は、高齢者医療制度改革を検討していますが、与党内の意見調整、党内手続きは進んでいません。このため、政府が6月に法案化を進めている「社会保障と税の一体改革」と高齢者医療制度改革との関連が大きな焦点となっています。

健保連は、高齢者が安心して医療を受けることができ、現役世代の負担が過重にならないように次の提言をしています。

- 65歳以上を対象に別立ての制度を創設(現行75歳以上)
- 制度の継続性を高めるために、若年層の負担を軽減し、給付費の5割を公費で賄う(現行の65～74歳の拠出は、公費負担なし)

この提言は、社会保障の機能強化という点でも制度抜本改革への道筋を示しているのではないのでしょうか。

国民皆保険制度の存続のためにも、早期に抜本改革の現実が求められています。

～・～業務課からのお知らせ～・～

扶養家族がいる方へ

年に一度の被扶養者(20歳以上)の資格確認を行います。
該当者のいる組合員のご自宅あてに案内を郵送しますので、8月26日(金)までに指定の書類を事業所健保担当者までご提出ください。

保険証について

昨年7月に保険証がカード型に切り替わりました。持ち運びが便利になった反面、紛失等の再交付申請が増えています。
紛失・盗難には、十分ご注意ください。

医療費のお知らせ

平成23年1月～3月の3か月間に医療機関に受診した際の医療費通知を配布しています。医療機関からの領収書と照合してみましょう。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。